

平成29年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	試験管内ネフロン誘導法に基づくヒト腎臓の病態解明と再構築
研究代表者	西中村 隆一 (熊本大学・発生医学研究所・教授) ※平成29年6月末現在
研究期間	平成29年度～平成33年度
コメント	<p>本研究は、応募者がこれまで積み重ねてきた腎臓発生学における発見を駆使しつつ、腎臓再生医学に応用した画期的な研究であり、科学的な国際水準以上の高いレベルにあると考えられる。実際の複雑な腎臓を再生する上で、更なる3D構築に関する研究が必要であるが、一方で発生医学的な自律性による組織構築の成果も報告され、将来の再生医療への応用が期待できる。</p> <p>以上の理由により、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>